

I C T実践シート 小学部③

<p>観点</p>	<p>コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ 学習支援</p>
<p>目的</p>	<p>Ⅱ類型2年生（国語） 平仮名の習得 ・読める平仮名を増やす。 ・書字の基本となる筆記具の正しい持ち方や運筆の要領を身に付ける。</p>
<p>方法</p>	<p>・通年で鉛筆型のタッチペンを使用。基本的に1年時より使用していた「もちかたくん」「ユビックス」（正しい鉛筆の持ち方を身につけるための補助具）を装着して使っていた。 ・5月から iPad にて、お絵描きアプリ「PIC×PIC 音が出るお絵かき」でのお絵かき遊び。随時。 ・7月から iPad にて、アプリ「ぐーびーともじあそび」内の「あいうえおゲーム」「そらとびげーむ」の授業内での活用。 ・7月から iPad にて、アプリ「ぐーびーともじあそび」内の「なぞりがきゲーム」の授業内での活用。 ・7月から iPad にて、お絵かきアプリ「PIC×PIC 音が出るお絵かき」でひらがなを書く活動。 ・10月から iPad にて、アプリ「miyagiTouch」を活用し、データ化した教科書のワークシートを提示し、タッチペンで線結びをして回答を書き込む。</p>
<p>成果</p>	<p>・「PIC×PIC 音が出るお絵かき」で、正しい筆記具の持ち方で楽しく描く活動に取り組みながら運筆の経験を重ねたことで、実際の筆記具を使用したときに画線をコントロールする力が向上し、画線の位置だけでなく筆圧の強さや滑らかさ等も含め、児童が自分でイメージしていることに近い運筆ができるようになってきた。線描の間子供の喜びそうな楽しい効果音が鳴ることは、特にアプリ活用の初期の段階で活動への意欲を高めた。</p> <p>・「ぐーびーともじあそび」内の「なぞりがきゲーム」に楽しく取り組むことで、文字を書くことへの期待と意欲が高まった。</p> <p>・「お絵かき」の“七色”（一画毎に自動的にペンの色が変わる）のペン色でひらがなを書くことで、文字を構成するパーツのイメージが持てるようになった。</p> <p>・「ぐーびーともじあそび」の「あいうえおゲーム」「そらとびげーむ」は、ゲーム内で使用するひらがなを指定することができるので、既存学習の反復練習に効果的だった。耳で聞いた音を1文字ずつ選ぶことを繰り返すので、ひらがなは1文字を1音で読むものだという感覚が確実に身に付いた。</p> <p>・「miyagiTouch」では、きれいに書けたことに自分で納得できるまでタッチペンで回答を書き直すことができたことにより、上手に書こうとする意欲と学習への満足感が高まった。</p> <p>・いずれの活動も、楽しく意欲的に取り組めた。</p>
<p>課題・改善案</p>	<p>・五十音のあ行から順にゆっくりとしたスピードで進めているが、児童の実態からひらがなの定着は焦らず少しずつ進めていく必要があると実感している。アプリの情報を集め使い方を工夫しながら、楽しく、効果的な学習を積み重ねさせたい。</p>

